

【事業名】 オガサワラハンミョウ・フサヒゲルリカミキリ生息域外保全事業（兵庫県伊丹市）

【団体名】 公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団（伊丹市昆虫館）

令和5年度 生物多様性
保全推進支援事業
実績報告書別紙10-6

事業の背景・目的

現在の生息地が地球上で1ヶ所のみであり、さらに個体数の減少が著しい絶滅寸前の国内希少野生動植物種であるオガサワラハンミョウとフサヒゲルリカミキリの生息域外保全を行うことにより、種の保存に寄与する。両種ともに野生復帰事業に供することを最終目的とし、飼育技術の向上ならびに効率的な飼育方法の開発にも挑戦する。



事業の内容及びその成果

・オガサワラハンミョウの生息域外保全

- ・生息域外個体群を継続して維持することにより種の保存を図るとともに、野生復帰に必要な飼育繁殖技術の確立及び生態等の科学的知見の蓄積を行う。
- ・生体展示を行い、生物多様性保全にかかる教育普及に努める。



成果

累代飼育継続中、種の保存に貢献

羽化72個体、幼虫飼育数69個体（令和6年3月9日時点）

136,000人（今年度見込み）の来館者に、常設的に生体展示を行った



・フサヒゲルリカミキリの生息域外保全

- ・個体群の累代繁殖を成功させ、飼育繁殖技術の確立と飼育マニュアルの作成を行う。さらに遺伝的影響を考慮した交配管理をし、飼育個体群の安定化を図る。
- ・戦前の採集記録しかない東北地方（岩手・秋田県境）にて、個体群が残存していないかの生息状況調査を行った。



成果

3世代連続累代飼育成功、種の保存に貢献

羽化265個体、幼虫飼育数201個体（令和6年3月9日時点）

幼虫の休眠（低温処理）解除後から羽化脱出するまでの日数について、4つの温度区において結果を得た。

